

多層言語社会・香港、 その社会とメディア

2016年7月5日(火) 14:45-16:15

メディア・コミュニケーション棟 608 室

講演「多言語社会・香港のメディアで働く」

講師：ブルームバーグ・ビジネスウィーク中国語版

郭慧研(VIVIAN KWOK)編集長

香港は多層言語社会です。人々が暮らしの中で使う言葉は主に広東語。しかし、中国大陸への返還以降、北京語（普通話）の重要性が増しています。むろん、かつての英植民地の影響もあり、ビジネスを中心に広く英語が使われています。

ブルームバーグ・ビジネスウィーク中国語版（彭博商業周刊）の郭慧妍編集長をお招きして講演会を開催いたします。

ご存知の通り、ブルームバーグは経済情報を中心とした米国の世界的なメディア、情報サービス企業です。また、ビジネスウィークは、80年以上の歴史を持つ経済誌。今世紀に入ってから、ブルームバーグ社はビジネスウィークを傘下におさめました。

多層言語社会・香港とそこにおけるメディアの役割、また、英語、中国語、広東語とといった多層言語環境での仕事とは、さらに、国際的な経済メディアの編集、報道の現場とは…。多岐にわたるお話が聞けると思います。

なお、講演は時間の都合上、中国語で行います。英語のサマリーを準備します。ぜひご参加ください。

問い合わせ：

東アジアメディア研究センター 渡邊浩平

☎011-706-5283

✉koheiw@imc.hokudai.ac.jp